



クラシックでもジャズでもない。
日本の音楽シーンを新時代へと導く3人の
それぞれの個性が重なり合い
ジャンルを超えた音楽がここに生まれる!

上野耕平(サクソフォン) Kohei Ueno(Saxophone)

茨城県東海村出身。東京藝術大学器楽科を卒業。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門第1位・特別大賞(史上最年少)。2014年第6回アドルフ・サックス国際コンクール第2位。現在、日本を代表するサクソフォン奏者として、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団他、国内のほとんどのオーケストラとソリストとして共演。自身の活動と並行してサクソフォン四重奏「The Rev Saxophone Quartet」、吹奏楽団「PANDA Wind Orchestra」としても精力的に活動。その音楽性を指揮活動へと広げるほか、アウトリーチ活動も活発に行い情熱を注いでいる。

NHK-FM「×(かける)クラシック」の司会、テレビ「題名のない音楽会」「妄想トレイン」へ出演するなどメディアとの相性も良い。音楽以外にも鉄道と車を愛し、深く追求し続けている。最新ソロアルバムは『eclogue』(2025年4月発売)

KOHEI UENO×ATSUSHI YAMANAKA×SHUN ISHIWAKA TRIO CONCERT

山中淳史(ピアノ) Atsushi Yamanaka(Piano)

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。後に同大学器楽専攻ピアノ科卒業。第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位受賞。器楽、室内楽、合唱など多数がヤマハミュージックメディア、カワイ出版などから出版されている。またピアニストとしては2018年にリサイタル・デビュー。共演者としても絶大なる信頼を置かれ、国内外の著名なアーティストと共演を重ねる。ピアニスト、作曲家、アレンジャーとして参加した各CDはレコード芸術誌にて特選盤、準特選盤に選出されている。東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団など多数のオーケストラとの共演、作品が演奏されている。『シヨパン -旅路-』を日本コロムビアより発売。

X (旧Twitter) @ginyamagin Instagram @yamanaka.atsushi



石若駿(パーカッション) Shun Ishiwaka (Percussion)

打楽器奏者、作曲家。1992年北海道生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校打楽器専攻を経て、同大学を卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。自身のプロジェクトとしてAnswer to Remember, SMTK, Songbook PROJECT、石若駿トリオを展開。また作編曲家として様々なアーティストや映像作品のサウンドプロデュース、楽曲提供を行う。これまでに日野皓正、くるり、椎名林檎、米津玄師、星野源、KID FRESINO、君島大空 合奏形態ほか、国内外の数多くのミュージシャンのライブ、レコーディングに参加。劇場版アニメ「BLUE GIANT」では登場人物「玉田俊二」のドラム・パート実演奏を手がける。Answer to Remember 『Answer to Remember II』が第17回CDショップ大賞2025ジャズ賞を受賞。石若駿トリオ『Live at ALFIE" Temporal Cubic"』はMUSIC AWARDS JAPAN 2026 最優秀ジャズアルバム賞にノミネートされた。最新アルバムは石若駿トリオ+1『Mabui』(2026年9月発売)。